

# れんごう中越地協

第667号 2010. 2. 1  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部10円



平成22年度長岡市予算編成に向けた要望

## 市政要望に文書回答と補足説明 市民協働、雇用創出、低炭素社会構築等の姿勢を表明

平成22年度の長岡市予算編成に向けた要望(10月26日提出)に対して、1月26日(火)小野塚副市長から回答書が手渡され、回答と補足説明がなされた。

連合中越からは矢島議長、横澤・羽賀副議長、小林事務局長、久保幹事、幹事代理五井氏が出席。  
回答書を受理したのち、小野塚副市長から

社会構築の意味から屋上緑化や太陽光発電計画が具体的に補足説明された。

横澤副議長からは、インクルージョンが教育の場のみならず、地域社会で全体化する営

### 連合中越第2回幹事会

### 10春季生活闘争等の課題論議

連合中越は、第2回幹事会を1月20日(水)18時30分に開催し、10春季生活闘争を初めとした当面の課題



要求作りの段階を向かえるが、日経連は、定期昇給凍結の考えを打ち出して、経営側の指針化し大変厳しい闘いとなる。我々は、産別単組統一め闘おうと

する挨拶がなされた。報告事項は、連合新潟第1回地協代表者会議関係、各専門部の年間活動関係等について、事務局から報告がなされた。

59回地協委員会の日程確認。10春季生活闘争関係では、相談ダイヤルキャンペーン、相談ダイヤル実施日。そして、公務部門連絡会、中小共闘センター

また、第1回地協代表者会議提起の組織化対策等についても意見交換された。

### 連合新潟 第3回執行委員会

連合新潟第3回執行委員会が1月20日(水)13時30分から開催された。



連合新潟・第45回地方委員会  
**10春季生活闘争方針を決定**  
雇用維持・生活安定に向け闘争開始宣言

連合新潟は、第45回地方委員会を1月28日(木)に開催した。主催者を代表し連合新潟江花会長は「賃金改善は、定期昇給の有無に関わらず、すべての労働者を月額5000円以上上げが目標。経営者サイドは厳しい態度を示しているが賃上げがなければデフレスパイラルに陥る。雇用・生活水準維持に向け頑張ろう」と挨拶。10春季生活闘争方針が提起され全体拍手で承認。賃金カーブ維持分の確保を図ることや非正規労働者を含むすべての労働者の生活を守るため、雇用の安定と格差是正に取り組む事等の闘争開始宣言が満場一致確認された。

今号から、幹事会四役による持回り寄稿「蔵王東2」をスタート。労働組合に関わる者の思い・出来事等々を載せる。さてどうなることか。

新潟中央食品労働組合の闘い等について報告がなされた。  
協議事項は、10春季生活闘争方針(案)について、最新データに変更された箇所等のポイント説明がなされ確認。今夏の第22回参議院選挙対応方針として、連合推薦が決定している比例代表選挙の各構成組織予定候補者10名の勝利に向けて取り組んでいくこと。会場都合で、年次大会日程が11月5日に変更等が確認された。  
確認事項は、10・11年度連合新潟専門委員会委員、ライフサポートセンター事業、第81回リーダー花の種の取り扱いや平和行動への派遣などが確認された。

「労働組合にとって大切なことは、団結の力である。働く仲間が一人でも多く労働組合に参加することによって、お互いに助け合い、使用者と対等関係を持ち、自分たちの生活を守り、安心して働けることである」とここまでは当たり前だが、昨今はこの労働組合のセーフティーネット(労働者にとつての)が緩んできたのではないかと危惧をされている。労働組合は従業員千人以上の大企業の企業内組織が主流であり、中小零細企業で働く者にとつて、労働組合の本質は疑わしきものとなって映っていないか。某週刊誌で民主党と連合の政治的関係や産業別組織から政党への政治献金の流入などが記事となっている。脇が甘いと言われても仕方のないことであり、政治と金の問題がいつの時代も疑惑として報道され、真実が明らかにならないうちに闇に葬り去られてきた。今回の記事も交付金や組織の陳腐化的視点は、まんだら外れな話ではないだろうか。▼「団結」という錦の御旗を違った方向へ振りかざしているのであれば、軌道修正し、足元の労働者へ分かり易い旗振りを願う。誤った政策をもち、力だけが強くなったのでは、社会を混乱させ、ややもすれば未組織労働者へその悪影響も及ぼしかねない。その為には、組織の拡大も大切ではあるが、身の丈の組織の点検が重要である。▼2010春闘は組織の点検をする機会と捉えてみてはどうか。(議長 矢島良彦)



サラリーマン川柳(やせるおちやせつせと飲んで水ぶとり) (出張をイヤといいつつ 笑みこぼれ) (仕事では逃げて飲み会すぐ参加) (損な役決めるくじにはよく当たり)

サラリーマン川柳 (流行語 口にはするが 意味知らず)

(義歯となり 還暦夫婦 噛み合わず)

(金と暇 出来た頃には 杖が要る)

(「知恵をだせ」 出る知恵あれば ここにいぬ)

相談ダイヤル実施日⇒2月11～13日  
\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

すべての働く者のために頑張る!

2010春季生活闘争 全国キャンペーン

めぞろ! 誰でも1,000円  
なくそう! 長時間労働  
まもろう! 雇用と暮らし

それが**今年の連合**です

入ろう! 労働組合  
みんなの声をかきましょう!  
一緒に力をあげよう!

連合に加盟する労働組合は、パート・有期契約・派遣・正社員に関わらずすべての労働者の待遇改善に取り組みます

連合とは? 正式名称「日本労働組合総連合会」全国880万人の働く仲間が集まってつくっている労働団体です。2007年10月に「日本労働組合センター」を設置し、パート、契約、派遣、アルバイトなどで働くみなさんを力強くサポートしています。

http://www.tyuuetu.net/へアクセスお願いします。

連合



委員会の冒頭、前田委員長から「厳しい経済状況が春闘にも影響を及ぼす中、ネット委員会では様々な企画をする中で、明るい活動が出来るようにしたい」との挨拶があった。その後、第1回委員会以降の活動報告がなされた。

審議事項では、当面の活動として、「ユニオンプラザ」のミニシアターの内容や当日の任務分担を決定した。なお、同セミナーは2月24日に勤労会館で開催される。セミナーには参加者アンケートをとり、結果を参考にしたい。

また、前田委員長が握手を交わし、引き継ぎ会は終了となった。

なお、第3回S J ネット委員会は2月16日(火)午後6時30分、勤労会館2階フリースペースにて開催される。

連合中越S J ネットの「第2回委員会」が1月22日(金)午後6時30分から、煉瓦亭にて開催された。また、新旧役員引継ぎ会が委員会終了後の午後7時30分から開かれた。

委員会の冒頭、前田委員長から「厳しい経済状況が春闘にも影響を及ぼす中、ネット委員会では様々な企画をする中で、明るい活動が出来るようにしたい」との挨拶があった。その後、第1回委員会以降の活動報告がなされた。

審議事項では、当面の活動として、「ユニオンプラザ」のミニシアターの内容や当日の任務分担を決定した。なお、同セミナーは2月24日に勤労会館で開催される。セミナーには参加者アンケートをとり、結果を参考にしたい。

また、前田委員長が握手を交わし、引き継ぎ会は終了となった。

なお、第3回S J ネット委員会は2月16日(火)午後6時30分、勤労会館2階フリースペースにて開催される。

連合中越 S J ネット  
第2回委員会開催し、年間計画審議  
新旧役員引継ぎ会で交流深め

連合中越高齢協  
「市政要望提出」

日時 2月4日(木) 13:00~  
場所 長岡市役所  
※終了後、高齢者センター「けさじろ」

実施する予定。その他にも年間活動計画について、昨年開催した内容を参考に各担当委員で内容を話し合い、次回第3回委員会にて提案することとした。

委員会終了後、昨年退任した旧S J ネット役員を迎え、「新旧役員引継ぎ会」が行われた。

引継ぎ会では、新旧役員それぞれが自己紹介をし、S J ネットの活動についてや自身の産別や職場についてなど様々な情報交換が行われ、有意義な会となった。

そして、前田新委員長と伴内旧委員長が握手を交わし、引き継ぎ会は終了となった。

なお、第3回S J ネット委員会は2月16日(火)午後6時30分、勤労会館2階フリースペースにて開催される。

連合小千谷支部だより

1月22日(金)プラザ片山にて2010年連合小千谷支部「旗開き」が開催されました。

来賓も含め総勢42名の参加がありました。

最初に石坂支部長より2010年度に向けての挨拶がありその後、長谷川県議を初め小川連合中越地協副議長より御祝辞を頂いたあと乾杯となり宴会の席では豪華景品のあたる抽選会も行なわれ大いに盛り上がりました。

最後は大塚副支部長による「団結ガンバロー」で終了となり2010年度小千谷支部の活動が開始されました。

連合北魚沼支部だより

○北魚沼支部新春「旗開き」を開催

1月13日(水)会館魚新において、約60名の参加者で旗開きを開催しました。

当日は、強い冬型の気圧配置の影響で、上越線が運休するなど、多くの来賓の欠席の中、恒例の抽選会や単組間交流で大変盛り上がりしました。

最後に森山支部長の掛声のもと、参加者全員が力強い声で「団結ガンバロー」を三唱して盛会のうちに終わりました。

○自治体要請書を提出

12月10日(木)自治体要請書を大平魚沼市長に提出いたしました。

地域の抱えている雇用問題や魚沼市としての取り組み等活発な意見交換を行ってきました。